

糸満市 糸満市字武富自治会

集落部門

和合の拝みと伝統がつなぐ武富のふるさとづくり (令和5年度認定)



武富地区は、糸満市の北に位置し、古くから自然崇拝の文化が根付き、古い井戸など、合計33カ所の拝所が存在する集落である。伝統行事である年13回の村拝みでは、部落や門中からピンシーと言われる木箱の供え物を拝所や井泉(イーガー)で並べ、五穀豊穰・子孫繁栄を願い拝みが行われる。

特に、村拝みの1つで、旧暦の6月15日に行われる六月ウマチーでは、御嶽を巡拝し豊年を祈り、夕方、東西の若者が旗頭と綱を持って、会場のンマイー(南の方角を指す場所のことで、武富児童公園がそれにあたる)までミチジュネーを行う。ンマイーではチンク隊の演舞や青年らによる旗頭の舞などが行われ、演舞が終わり陽が沈んだ後、アガリとイリーに分かれて綱引きが2回行われる。

このとき用いられる旗頭は、戦争により焼けてしまっていたが、地域住民で旗頭復元実行委員会を設立し、1996年に50年ぶりに復元した。綱は毎年補修をしており、作成には幅広い年代が参加し、若い世代へ継承をしながら行われている。

また、青年会、青年OB会が中心となったエイサーなどの年中行事も引き継いでいる他、地域住民による清掃活動や婦人会による美化活動にも取り組み、住民の交流を積極的に図っている。

このように、地域住民が積極的に参画し、地域の伝統文化の継承を通じた「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」の集落部門に認定された。



年頭拝み



5月拝み(カ一拝み)



旗頭



綱作り



エイサー



集落の美化活動